

国宝



青井阿蘇神社



周辺マップ



◇JR人吉駅より徒歩5分 ◇人吉I.Cより車で10分

青井阿蘇神社

〒868-0005
熊本県人吉市上青井町 118
TEL 0966-22-2274
FAX 0966-22-2275
E-mail info@aoisan.jp

www.aoisan.jp

青井阿蘇神社 携帯サイト⇒



青井阿蘇神社（通称 青井さん）

祭神

多クウツシノミコト アソツヒメノミコト タリミヤコノハヒカウミコト
健磐龍命・阿蘇都媛命・国造速甕玉命

鎮座地

熊本県人吉市上青井町一一八番地

例大祭

十月三日〜十一日／八日：菊祓・献幣式・球磨神楽 九日：神幸式

国宝

本殿・廊・幣殿・拝殿・楼門（附棟札一枚・江戸期の銘札五枚）



青井阿蘇神社は、平安時代初期の大同元年（八〇六）九月九日の重陽の日に創建され、平成十八年に千二百年の歴史的節目を迎えました。この間、鎌倉時代初期から明治維新までの約七〇〇年間は、相良氏の一元的な支配と保護を受け、荘厳を極めて来たのです。

現在境内のほぼ中央部に北側から南側に一直線に配置された本殿・廊・幣殿・拝殿・楼門の二連の社殿は、相良二十代長毎と重臣・相良清兵衛の発起により、慶長十五年（一六二〇）から十八年にかけて造営されたもので、平成二十年六月九日に国宝に指定されました。

国宝指定基準

重要文化財の中でも極めて優秀で、かつ文化的に意義の深いもの

- ① 社殿群は慶長年間に造営されたもので、統一の意匠を持ち完成度が高い
- ② 中世球磨地方に展開した独自性の強い意匠を継承しつつ、桃山期の華麗な装飾性を機敏に取り入れ、近世球磨地方の社寺造営の手法となっている
- ③ 雲龍など要素を飾る華麗な彫刻、特異な拝殿形式は、広く九州地方に影響が認められ、南九州地方の近世社寺建築の発展において深い文化的意義が認められる

- ◆熊本県初
- ◆茅葺社寺建造物初
- ◆神社の指定47年ぶり
- ◆九州内建造物55年ぶり
- ◆日本最南端国宝建造物

「日本の宝」に

人吉球磨の心の拠りどころが



ろうもん 楼門

高さ十二メートルにおよぶ禅宗様式と桃山様式が華麗に調和した建造物です。上層軒先の四隅にはめ込まれた陰陽一對の鬼面は人吉様式とよばれ、全国に類例がないとされています。欄間の彫刻は、二十四孝物語をはじめ大陸の影響をうけたものが施され、天井には経龍が描かれています。



はいでん 拝殿

建造物の内部が拝殿・神楽殿・神供所の三部屋に仕切られているのが最大の特徴です。神楽殿には天体にたとえたヤツジメとよばれるこの地方独特な舞台装飾が施され、十月八日の夕刻には国の無形民俗文化財に選択されている球磨神楽が演じられます。



廊 ろう

左右両柱には「あ・うん」の形相をした一對の龍の彫刻があり、向って右が剣を、左が梵鐘を巻き込んでいますが、このような形式は南九州の近世社寺建造物に影響を与えたとされています。



へいでん 幣殿

本殿から向かって縦長に配置され、内部は四季折々の花鳥風月、外部は動植物の華麗な彫刻や鍔金具の装飾で彩られています。柱を超えてつながる画面の彫刻や露を表現した鍔金具の手法は、当時の最先端技法をいち早く取り入れたとされています。

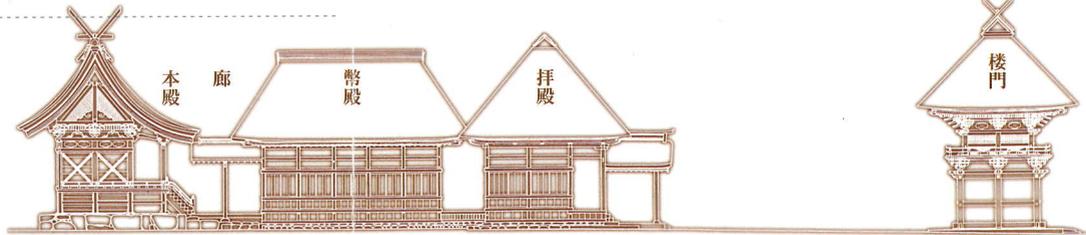


本殿 ほんでん

御屏は神仏習合の思想を偲ばせる真言密教の法具である「輪宝」の金具、その背面には金箔地に社紋の「並び鷹の羽」が描かれ、御屏両脇の亀甲文様をした藩戸は、各部ごとに花卉が描かれていた痕跡があります。また両側面の妻の部分には昇龍や降龍、瑞雲や藤の彫刻が一面に施され豪華な造りとなっています。側面、背面全体にみられる×型の棧、緑や赤で塗られた格狭間とよばれる文様の位置に人吉球磨の社寺建造物の特徴がうかがえます。



*内部見学をご希望の方は社務所までお申し出ください。



彫刻 桃山の美

中世からの独創的意匠を継承した建造物に、華麗で装飾性に富む桃山様式が先駆的に取り入れられ、その技法は人吉球磨地方の近世社寺建造物の手本となっていきました。



十月九日 おくんち祭

毎年十月に行われます例大祭おくんち祭は、人吉球磨地方最大の祭りで、特に九日の神幸式は古来とかわらぬ神輿や神馬、獅子面や稚児などの時代絵巻が市内の目抜き通りを祭一色に染め上げます。

